就制を意味するここを此のなる女字は常に常に延す力

はも気が付いて足を図めた。就子

と聞き返すやうにいつたる

難を立てたので、

どまつた。

に於ける ヤンピオンさ心得せ口、資本家は調際經濟戰場本家の動議進出を排撃致しま

り良く延びるか即を延ばす力の統制を忘れるこさはありま

出を抑へる詩位のものであり、は全般的利益を延長せんが爲いなさするならば失れば全般的利益を延長せんが爲

節約上此の位にして話

戦能力増大すること

側の最高統制機關だけに就てので右の内臓剤に於ける日本

音々は統制で もれる向もありますが決して を様ではありますが決して

第一。同民全體の脳利を基調

階級の利益に扁

のります。又日本側統制機関

陸軍一等主計 東福清次郎

設の現況繁

滿洲經濟建

断々乎さして排撃したのも関東軍が従来。凡有利権屋

る文字を優端に誤解せられ智 御意見を拜職教しますさ吾々 の用ふる統制即ち産業統制な

の保持する經濟建設の根本方

4社、鮮銀大連支店間で央定的股の事情に疎い大連の磺餓

備洲國の健全なる検達を報

し午後零時二十分散會し

輸出情况

合に役員會を開催。これが協一ので佐野理事は十八日金融組

へ組合の

増額方を申請

八圓見當である **简月末相場四十二弗五十仙。**

香山と京子との二人だつた。香山

優速も征治もそこに英一と属子と

た表情でかつきりと出館つた。女

がゐるのに気付くと、白けたやう

坂路から先づ姿を現したのは、山の目と、四人の目が妙に緊張し多の路の宿(六)の目と離子の目と、英一の目と

眼師や気の具合で、かなり職れて は無例な門腹姿だつたが、金縁の 比較すれば實に八

八十九)

(高根秀浩畫)

京金融組合では政府貸下の 簡をなし更に低利資金の増額 定した。右につき佐野理事は なは十萬圓 の申込み

新記錄

も金縁の腹鏡を懸けて、可なりけった。が、英一と脅山とがすぐに配のい、身裝をしてゐたが、これれども、息苦しいやうな沈歓があ

が分かつた。京子は貴婦人めいた。そこには極めて短い間だつためてもすぐにその人だといふことな顔付をして笑ひ略を留めた。

京に廻して賞ふ心窓です。他の組合には未だ低資す。他の組合には未だ低資す。他の組合には未だ低資す。他の組合には未だ低資す。他の組合には未だ低資 爾洲國の健全 る事は困難です

定例閣議は平前十一時より首(東京十五日酸調源)昨日の なる發達を 陸相より

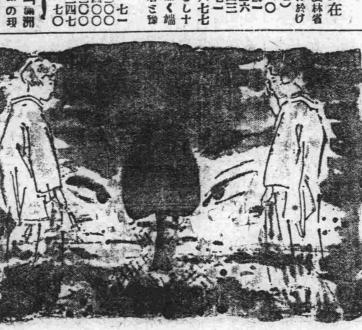
人の増加を示し、大連港の貿易は昭和七年には粛洲畝に日本より一千五百萬圓の出超である。 講戲の事業も改善される。 講戲の事業を改善され 人の増加を示し。大連港の貿利人の数は事變削より約四萬十分の数は事變削より約四萬十分。 大連港の貿易 (高橋蔵田峡間) 先づ荒木障相 相官邸で開會各閣僚全部出席

入組合に對する割當額はの事務の政府貸下の低利資金の新京輸」過ぎ、調査の期日も相當から

一敏活 を欠く貼が

貸付手續きに非難

「東京十五日養國達」 農林省 建設川八月一日現在 大戦野在高(單位千石) 内地米 110、九六〇 内地米 110、九六〇 大戦野 111、九六〇 中年に比較すれば二、六七七 特別の特越米は一千萬石ミ锋 地でれる まされる



道具一切

加藤葬儀計

方

味

電話三一〇八番

お度

安良優証保質品 精粉味調級 髙

維粉食國全

笑みなしながら近付いて楽からはちつと読み合つたやりといびつたりと寄りなつたまと続歩だけはしたけれども、 香山中京子はまだこ からはちつと読み合ったやうに 来ないやうな様子で、 底から打解けること

時計の御用は

下宿屋組合御指定 下宿屋組合御指定

長野商曾

塩はかりでなく。ガ々の酸塩の紫 部間のやうな役目を勤めてゐる、 屋にも出入りをして、一種の高等 て振踏を登つて来たのは、日本職『不思議なところで言つたわね』 最後にみんなの後を追ふやうにし一散意が聞いてるた。 るやうな断子でいつた。 いらくすると京子が光づ希美す 金華堂へ

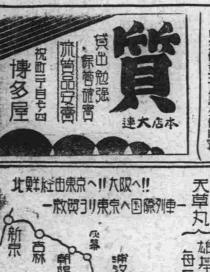
か、就子はすぐに議院の事に既っない。 就子はすぐに議院の事に既っ てから、 「何時來たの」 差をしながら断くと、配子は 京子がさういつて振るやうな

以上説明により吾々の云よ事のますが大事な點でありますと思いますが大事な點であります ひます 月中に於ける天津綿糸輸出情 今度は御約束の第二點「編別 で終ける經濟統制機関の現 に終ける經濟統制機関の現 である機関に使りて指導統制

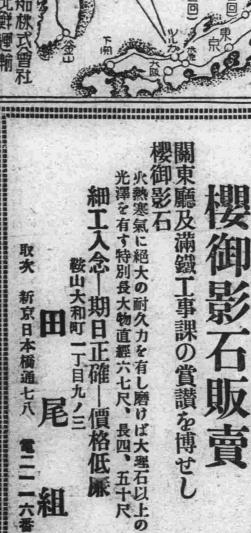
高機麟を相手に交渉すれば宜 る機麟を相手に交渉すれば宜 **鈴子や脳子の姿が現はれて来た。 てるた。二人の目の中には明かにた。と、二人の後には引き観いて に目と目とを見合はしたまゝ黙つ** の亭にゐる二人には氣が付かない 話めた。が、

門時来たの」

「あなた何時来たの」 **派**質品安賣 祝町三十月七四 博多屋 連大店本









れては低資賃下の効果を競弾はいかの」「運轉資金では駄

「あ」…香山先生と京子さんよ。 盛くから見てもすぐに知れた。

ししく化粧をしてゐたから、

微笑をかびしながら近付いて行っ

るやうに聞くなつた。

12、オラング糸を二千斤四 輸出入局は輸入に於て僅か2 を調査によら七月中の人絹糸 による七十八萬斤巳十二萬圓 以来の最少額を、したが之に 以来の最少額を、したが之に 千圓を輸入したに出まり年始

輸出は更に増加の傾向にあ さの新記録を示した今後原糸

今坂路を登つて来た二人の方を見 「い」よ。落着いてゐたまへ」 」かりらないといったやうに英 の顔を見上げた。 英一は力強くさらいつてちつと 露子はさういつて、何らしたら うな挨拶の言葉が取り安された。 「やあ、これは意外なところで これからみんなの間には「しけ

潰金銀金銀

高價買入

并服簿 各種製本專門 電話三三四番電話三三四番 東二條總6世五

神佛

宴會の出前を致し舛 一

內 容 I ミカサ 電話二四六八

女給入用 女給入用 北澤安久氏急用あり で 新原區名 御程來上

マフテレフテル 趣味蒐集 出田吟味堂

遠近多少二不拘迅沙御用命二應ジマス

24

九

也

x

瓦

r

砂

在庫品

豐

富

運

搬

力

完備

新京地方事務所

新所至八月二二日每日至中後四時 「日八月一八日年日中旬一〇時 「新京地方事務所長二二十十年 「新京地方事務所長二二十十年 「一十年日中旬一〇時 「日本日中旬一〇時

新京地方事務房 經覽場別

事務所至八月二二日毎日至中後四時場別 解京地方事務所是 荒 木 草麻漁洲巉道株式曾社

三 行 一回金八十銭 被雇度 一回金八十銭 被雇度 一回金八十銭 付 一回金八十銭 一回金八十銭

小玉を降

日

日案

內

赤煉瓦製造販賣

業公 電話四八六九番 司

新京入船町二丁目廿五番地(二條橋北詰西へ入)

臓防計画の確立

をはかろこと

教を訪問するここになって居教院により近く首相は鈴木總の東京十六日夏國總計議策協

輸入の防遏、輸出の疑励

九三六年のロンドン條

政策協定につき

すべき関策を決定するこさとこさをなつたので、近く協定こさをなつたので、近く協定

一、歳入の増加をはから、こに伴ふり交頭像の確立に伴ふり交頭像の確立

自給自足の産業力針を確立れに據る財政計畫確立

協定不可能を

恐れる

共同經營の精神で

家風に添はぬ嫁は出て貰ふ

は飽く迄

9曾 商並に日 英糖商 の全薬に 仲ふ善 後策協 定のシ東京鼓通書)日印通額條約

調整の食に開かれるロ

競を以つて其趣旨さする 中班商條約を締結し互惠主 中班商條約を締結し互惠主

保給進を最後の目的さする

鈴木總裁より提出の

首相廿三日頃鈴木總裁と會見か 國家百年の大計を樹立すべく 献策を容れ

協定と云ふより寧ろ基本國策とも云ふべき國家百年の大計を題目とするものたるべ獻策を容れて二十三日頃鈴木總裁と會見、政策協定の口火を切る筈だが、右は政策(東京十五日發國通)鳩山文相と齋藤首相との午前の會見で齋藤首相と鳩山文相の 山本内相を通じて若槻民政黨總裁に報告して若槻總裁に會見日取を報ずる筈 題目さなるも く個々に亘る當面實際に則したる政策に就ては閣議决定に俟つ必要もあり到底協議 のではな いと観ら

首相鈴木總裁間に意見相違 却つて政界に波瀾を起し動は一せわかき観ら向さえある

んさするに過ぎず最初の政策が文相、職和の所謂縣談をせれの奔走による認策協定問題 民政黨も遂に

るがその際鈴木穂裁が重要認 を政府へ迫るやうなこさがあれば事態は極めて耐倒さなり 民政策方面さも話合をつける 必要が生じて來るこささなり 信局不可能さなる恐れがある ので政府さしてはこの點を整 が成るべく基本調策に購

丁學忠代表院國棟以下多数の古學忠代表院國棟以下多数の丁學忠代表院國棟以下多数の 泰山に向ふ 去つた實物。財産等を

を な、 は、 はつきりきめれば無 意味である 而して第二回第三回さ曾見を 立を否んで居る模様である 重ねる

(東京十六日酸物領) 政策協 定問題は登勝鳩山、齋藤山木 各相の會見に依つて進展を示 自見の選びさなつたが協定の 範圍内容に就き齋藤。鈴木兩 氏の抱く岑へに相當な相違む

残餘のものを管排ふべく奔

し、一ヶ月以内に上海に到着することになつて居るとた處に依れば、學良は英國に於て最新式の飛行機五台を購入(奉天十五日發國通)張學良より最近何應欽に宛て報告し來つ

及英國で

最新式飛行機購入

か迎程に来津約十分間停車の 後八時四十分津浦線で南下泰 地に向つた 脅かされ窓に兵變を起し十三の不改さ舊東北軍改編の壁に

図し飛行部々長に就任するで 門以内に上海健送の手續をご つた。之を土産に十一月頃韓 では、一人を一人の手續をご 穌聯ミの連絡は明瞭 月頃 王以哲軍に

若槻總裁とも會見せん

張學良

の汝造問題等について第三際だが、兎に角管理局機構

要誘動の素因を爲した蘇東北(天津十六日酸認通) 輸洲事 兵變起る

降編成の爲目下平津地方にてんで居る。之等はロシャ人部

行つて貰ふより致し方がな情するものではないのであり態度に至つては一歩も假的態度に至つては一歩も假 の能率問題等枝葉のこさは つでもよい、北縄共同經濟 ご湖洲威側さしては事務上

の家風家遊を知らないのだして治むべしさ云ふ北観の要するにソ郷は共同に二人

術数ミ選延策を講じて居る狀勢を観測して種々の撤謀 島地的交渉の種展き客観 する答の所、満洲螺螂の部合に其の第三次中間食商を開催

明日かる備州側の幹事會を

心シマをかくすに苦し

こさによれば、私も出掛けによつて長引いてゐるが、

丹後丸(八千俵積取)十八日ボーンペー機の商船ロンドン丸を以て大體終了するこせでなつた

こさをいふわい

さは別郷に獨自

歩し十二日ポンペイ酸の鄭船

協定にある由、さいたやうな政策協定は観家百年の認識の

て行きたいさも思つて居る

畑新 〇 團長

市民を脅かす追剝の逮捕にあ、次は連日

十五日着任

人事往來

七五三一十十項 月月月月月月 限限限限限限

その足もごを明察する方が

第三次中間會商 十七日開催に決定 双方の換算率討議されん

る十七日午館九時より開催することに決定。 間日は先づ換算率決定の特別委員會の兩國質の保証の協議をなした

▲服部少路(混成第○○○個長)十五日午後三時三十五 今來京職掌版館へ 本水野少路(陸地測量部長) 十五日午後九時來京 十五日午後九時來京 十六日午前八時四十分ハル

サムの銀相場 ・ IOSalfo 「テテハル十五日酸酸油」新任第〇〇〇個長畑中將は野村田宮帯同、十五日午後三時十分松木中將、内田總領事、孫 衛長等日滿聖人幕僚一般市民の数理程に着任、松木中將き固き握手を交し、路上に堵列する日诵軍隊を関兵の後、司令邸に到客、粽ヶ各部隊長の 大いで地方氏代

表の挨拶を受けた

オットー中佐

▲大内中佐(第○○國泰謀)十六日午前八時來京司八時四十分ハルビンへ 本加中佐(前新京題兵除長) 十六日午前九時内地へ 最) 十五日午後三時二十五 分來京十六日午前九時內地へ

理 ★ 文章 200 全章 200 中央 200 中央

を見せるここさなり、名方面を見せるここさなり、名方面を見せるここさなり、名方面を見せることさなった。所くして北域交渉はなった。所くして北域交渉はなった。所くして北域交渉は

十二日チチ ハル到着

中後四時半要務を帶び出張中や後四時半要務を帶び出張中であった獨 尉さ同行來齊した

△大阪尚志曾順二十名十六日

大日午前八時四十分へルビ

{体

藤本中佐 明朝發凱旋

時三十分大連へ会渉場解教育團十名十六日午前六時四十分來京司十号を表示の一十五分來京司十号を表示の一十号を表示を表示している。

先一<u>二</u>二十九當 月月月月月 限限限限限限限

大 100%

ムラ會商出席者に

我對案を授べ

確にし以つて帰郷の友交領し日印双方の要求希望を明 の観點より充分の論論を鑑り英甲層・破經濟問題の凡物 するこさしなつた、なほ同中 中軍参謀部第四課職本中佐は 中軍参謀部第四課職本中佐は 協會では純銀製の美事なる楯佐さ最も羈係の深い新京記者 個を贈った

詳細は會商の模様で回訓

小山憲兵中佐 **台朝凱旋**

事變直後雨京憲兵隊長さして持に採動の小山憲兵中佐は十六日午前九時種列車で憲兵司令官代理坂本大佐、徳京師憲兵司令官以下日禰安人一般市長司令官以下日禰安人一般市

本天津日本人園十七名十六日帝林往復平後十時大連へ帝林往復平後十時大連へ帝林往復平後十時大連へ大日平前八時四十二名十十分へルビッへ一億第二班四十九名十六日中後等時四十分奏主領へ任時四十分奏主領へ

▲ 台灣總督府主催園十六名十六日午後三十二十五分來京同四時三十分奉天へ 同四時三十分奉天へ

調東島出版納險關係新京進出 波路宴は友部新藝務局長の名 により十五日午後六時ヤマト 係各方面の代表數十名を招待 水谷高等課長主人役を動め、 友船新局長は今前前任地台灣 で母堂の病気ならびに自身徹 上、下水道ノ故障ハ 市瀬工務所へ が京曙町三丁目二十番地ノニ 話三二五二番

襖專門

梅が枝町四丁目十四番地

故武藤元帥の

新京神社に安置さる

について左の如く語る、

して居た雄だパンドラから

「東京十五日發報通」去る十一日の北級第二次中間會職に 換算率協定に應する旨の護歩 的提請に基ま十五日第三次會 的を開き習園換算率に設する

であた事門委員會の構成及 、十代日の第三次中間會商 、十代日の第三次中間會商 であた事門委員會の構成及 であた事門委員會の構成及

ならしめるため、 政府 ご政友會の關係を 関滑 は嫌いだ。荀くも政策協定の言葉

友會總裁は政策協定問題につて東京十六日際関領〕鈴木政

鈴木總裁語る

森田鐵道司長語る

副令を授けて出發せしめ飛怒に對しては大体基本大綱を以て兩會筋に臨む日本側の風激も容易に判明せざ

一、英印柄뗈の猛省を促すさ

側き密接なる聯絡をき

動を防止するここに努むるより印度の産業保障法の養

使節一行中

廿名歸國

さ共に會商に於ては成るべ

近り大蔵、商工、農林

油、牛皮等印度側商品の を披瀝し印綿の購買を始め 共に我方よりも充分の意誠

(大阪十五日發底頭) 來朝中のプラジル經濟使節一行中ピウキ氏外世名は來る十七日神戸出帆の商船リオデジャテイロ丸で歸越するこ言になつた尚主席代表サントス氏は來る九月十六日商船モンテビデオ九川、大田商船モンテビデオ

警務局長催宴

海外經濟

檢閱係披露

協議品目人絹包含問題と

我外務省の見解

肉ほシムラ自商に於ては

に對し、獨裁に限るを低下させるからを低下させるから の行政學に聞かなくこ**も**明

体質器に附議決定するこのむ我最終對策協議の官 の司會の下にシムラ曾

ひ其到達したる内容を最終 兩國の間に實質的討議を打 印シムラ會商では日

交渉延期さる 巡當業者協議に協議すべき商の(東京十五菱図通) 日英印三 **しめるか否かに就き本邦當業品中人絹ご人絹父織物を含ま**

者は強硬に反動して告るが、たの 含ませるご賞し一兩日中に英 適開人絹業代表を決定する旨 通達して來たので外務當局は 一、英國の強壓的應度は不過 であるが英國人絹業代表が 互護妥協の職態を示せば本 邦人絹業者も協議會に出た 方が有利である 和人絹への競争の事質は富 が人絹への競争の事質は富 が大絹への競争の事質は富 が大絹への競争の事質は富 がある。 なる考慮で決せられるべきだ なる考慮で決せられるべき

他の既契約印棉は仕萬俵 に選 (東京十五日發歐地)紡績聯合

印棉不買 次議前の 契約棉積出し

が、 の病気なもびに自身徴 の病気なもびに自身徴 の病気なもびに自身徴

への土産にするそうな 即良、優秀な飛行機を購び配

黄邦、果してこれをうけ入れ

おり萬子を安心とて買へる店

その日く

(可認物便承確三等)

窃盗犯人が

出をなしたが不香の點が多々洋服を窃盗にかくつた旨の居 一なる者がレインコート、 館餐祭署へ顧島一郎、上 **盜難届**

には逮捕を見る

共犯者も此處數

原にて市内に も相當 某重要犯人の嫌疑濃 名)で取調べの結果

共犯の關係上特に假 務吉田春雄(二六)

四條面で途に逮捕る 右犯人は元某官廳勤

寛ヶ浦より飛行機を飛ばし爆張したが古賀中尉は决行常日

さ答へ隣場を驚ろかし同十一

大和通加出所附近で強て警戒

八飛降り

領事館で行はれたが、彼等は、 全くその党へなしこ否定した なって上語丸パッゲーデマス

2目されるレメディオス兄弟トランタ詩死美人事件の犯人

犯人の首實驗を行ふ

の取調べは十九日ポルトガ

集に努力したがうまく行か上海事件に出征當時武器蒐

仲川、金灣子間五百十七キロ中川、金灣子間五百十七キロ

で只手榴弾十個を腹に隠して持つて帰っと からるや一満人が三等車中央五百二十メートル附近にさし

中には数 6 か 節か袋に 兄おの馬

一彼等一 黒歌者を眺すさます! 増長させるばか

十時年頃であつたこの分では

州國デ 入場者二萬盛會を極む

・ (大連十五日發劇強) 領博主管験堂に

大阪市長の祝鮮あり日禰南國

人某官廳勤務 强盜遂 池伽自博車店店員の氣轉で

に捕はる

利助で開廷されるが、神垣裁 対助で開廷されるが、神垣裁 対助で開廷されるが、神垣裁

告の公判は

一五民間被

出することしなった

ピューリスト

满博観光

國員募集

って、急行料金は不要で 速度は現在の急行以上で

嘖々たる好評の

会終了七對丘で部山中爆勝つ路山中場對秋田中爆試合時の部山中場對秋田中爆試合

果元憲兵伍長の

遺骨着京

(甲子國下六日發國以)全國中

對秋田中學戰

郡山勝つ

松旭齋天勝一座

愛郷塾のめ首州官邸、三菱田より十九日迄連動の最原

をたの要値で募集するが各方を中の備州大博覧音観光馮島

最単所の貨地檢證をす

の减刑運動

一、蘇集團員数は約三百名を

t

に特に臨時列車を運轉する目標さし、観光團員の爲め

面で相當の喝来を博する事

陸軍當局訪問 世話人十六日

一、汽車等級は三等さす 一、汽車等級は三等さす 一、汽車等級は三等さけ を含ま 連に於ける 数食代 を含ま

破壊侵入し 機崎 氏レイレコ お語数授をなしてあるが十四 日午後八時頃隣家の職崎方の不在中、を奇貨さし窓硝子を不在中、を奇貨さし窓硝子を 重要余罪續々發覺 ・ト (時價四十圓)及手服三 ・ 満荒郷然方に曜置し自分の犯 ・ 満荒郷然方に曜置し自分の犯 ・ ある

國家革命は

中學以來の思想だ 烈々ご說く伊藤少尉 海軍被告第十四回公判

玩具用の拳銃で强迫

に逃走 したので犯人はす

の裕餘もならずご直に逃走

合法的手段で爆酸するさ之未組締の組織をは吾々が非

の一つ又一つさ相

したが一店員が矢庭

出しかくし持つたる

少き増所新におびき

同自治會館裏の

店員二名を新發屯大

も所用ある如く

ここを何時知つたか」で問は一九五十五日の神石、一五事件を判は午後一時五、一五事件を判は午後一時五十五日の決行のを理り、一日の中での時間である。

審理が行はれる

楽した非合法的直接行動に出々のやうな法を無視し軍規を 6」さ皮肉の語を織けて「我を注いで築き上げた海軍か るものが出たのは結局成るや

日

御歸還は廿 一二日頃

古賀中尉さ知つた事

ク詰

(東京十五日競響通)

のため十六日葉山

神である、又罷濟統制の美的で権力に譲らよ奴隷的精

即帰還の御豫定である

馬車屋をどうするの

バシヤと呼べば來るが

新來にみて料金を吹つ掛ける

來なかつたのを残念さっに述べて半人の立場、事件について如何思ふか」この訊問に肝・のの野心は危険、よつて○○を斃すの を間はれて「財部大勝が心血」とに立代つて一派が擡頭するとに立代つて一派が擡頭する

得、十六日陸軍営局を訪問場話人の奔走で一萬人の署名を話人の奔走で一萬人の署名を 近ごろ横柄な

りたものであるさ解してるるとが切符を紛失した島飛び降たが切符を紛失した島飛び降 ら法外の 一料金 をかがけ、

を持つてゐるさか云つて現せてき馬に飼料を現へるさか客できるのを見分でたまく 來たばかりの者でか厳い者か のを與へて追溯ふやうなとさいものがある。彼等ははなに 祭で决めてある料金以下のも近唱客馬車夫の横着さは英し やうごしない。我々決して暫

アデメシ くさかプカンさか はしないのを、ジョく取べのを與へて追拂ふやうなとさ

京州に馴れない人は馬車叫ぶ るここが出来るであらう、こ こにおかしい痛快な話がある ここが出来るであらう、こ つりへ戦 突出し稼業停止を命ずるなを調べて最寄の發官派出所 者な馭者等の乗ずるさころ 東車 幸はその番

るへばこつちのものださ語つ を看取した、物馴れた人は。 るほご何台さの馬車が集る 鼾をあかせる。乗つてし チョーミ叫ぶ之が彼等 外人一者なるの、

「甲子園十五日麓初頭至急報」 三日大正中郷對松本商業は十 五日午後二時十二分大正先攻 で開始、四對○で大正中學は

☆スコナー左の如し 對松本商業戰 0

满洲國地圖

~ 五萬分 ·····十五錢 ~ 價 新京吉野町一丁目廿四

元賣捌店 森 電話二五一番 店

歸省御挨拶

通り鶯みますから何卒御利用下さいませ帝都の進々を極めたる美容術を本日より從前申し上げます自由をおかけ申して居りました事を深くお詫自由をおかけ申して居りました事を深くお詫手容術研究の爲め歸省中はお客様に大變御不

長春美容院 新京古野町二丁目(ミッヮ屋書店内)

長さする大日本聯合青年割の単に來講した後藤優相を理

天に開催される建岡配念大會順に開かれる議州大會並に奉 での覇を唱へ、朝鮮球界に君

田野京著は同二十一日で二

前八時來京。二十六日福州、川大曾に出場。二十五日午

四、親祭は明何觀録常時

りラテハルに贈り北殿線水る九月三日大道に上陸奉

より代表者十八名を選

日程は次の如くである 日程は次の如くである

合青年團

龍山鐵道軍

近く來戦

に於て華々しい試合を演するに於て華々しい試合を演するが明十七日全新京軍さ西廣場小県校一日全新京軍さ西廣場小県校一日全新京軍さ西廣場小県校

第二回滿洲視察

入日本聯

こご疑なしであらり は大人婦員の盛況をつぐ

中山範土一行

美

今夜着京

日夜がお名残りです是非一度は御來観下さるやう御願ひ初日より大入滿員の盛况厚く御禮申上げます、愈々明十七 長春座にて

四、臨時刘東の運縛は新京を 來方土曜(十九二)年後四 來方土曜(十九二)年後四 中前九時の豫定で、客車は 111等機良車を使用す 111等機良車を使用す

森東ベルトラン

P

97

車の出鏡迄に驛に各自参集車の出鏡迄に驛に各自参集 悪しく天候不良だつたにも拘 蓋をあけた松加蛮大勝一座折 初日は大入滿員鮨詰の盛况

(10一六) 及フーリスト 一勿心ち 一 であの盛れ 一 の心ち 一 であの盛れ 竹子。 琴子、春子、

たハルピン 憲氏 3 果元伍 と の遺骨 は戦友 に棒持さ れ十五日午後三時二十五分ハルビンより着泉坂本憲兵大佐。117 本の遺骨 は戦友 に棒持さ れ十五日午後三時二十五分ハルビンより着泉坂本憲兵大佐。117 を歌の出迎を受け直もに太子を歌の出迎を受け直もに太子

四番目が天勝主演の日本認有人だもの子供は大喜び、三番目はクレバ新次行本安次郎の体技アックルハットは訓練の体技アックルハットは訓練のの話を見せるすばらしい力技 術に始まつて、二番目がお伽俊子、ジョーダ高騰等の小奇 九月三日より三日間季天に九月三日より三日間季天に九月三日より三十一日午前 領事館署の 進岡記念大會に出場の豫定 接客業者

前九時酸列車で内地に淡漉さ

河合ポーランド

七七二)さし締切は十七日

な計るべく、その第一歩きし を計るべく、その第一歩きし を計るべく、その第一歩きし を計るべく、その第一歩きし を計るべく、その第一歩きし を計るべく、その第一歩きし を計るだけ、その第一歩きし 食店業者の健康診断並に衛生 を店業者の健康診断並に衛生 講話をする筈である へ東京十二日酸國地B ボーランド会使河合博之氏は今春東 病氣中のさころ十四日午前八 病気中のさころ十四日午前八

(大阪台) 全岛中等野球戦番 全國中等野球 勝者戰

午後三時敦賀商業—橫濱商業

正 午 水戸商業—明石中學 第五日(十六日)

第四日(十五日) 滿洲國軍政部測量課發行

南四、110 相場 商業通信社 本 大後四、00 レコード

「東京会」東大名譽教授法學 「東京会」東大名譽教授法學 「東京会」東大名譽教授法學 サジオ博

予御注文ニ應ジマス 各種其他一式、破格ノ御値段ニ 小炭ノ卸及小賣

事務机、椅子、タンス、茶ダンス

和洋家具

曙町三ノニー、巌鐵病院ノ裏 四田 材木 電話三六七

大連新聞新京支社

外交員急募

新京東一條通(室町小學校角向上)安谷 齒科醫院

口腔科一般

より左記に於て開業可致候 1下病氣にて蘭鐵病院に入院中に付九月

心中をかしくあつたが。

い。自分は何うしても姉の方だ。

石炭

和第二章

些行

藥

徳に取削らつて、豚内に変を置めて居るが、何らであらり其が

はくば城のお葉のがにしたい。 「娘」では少し若くて物足りない。

なら、金銭づくで手を切らせ、子を切らせ、子をはのがを…… 窓が根木屋の女房

ては如何でございませり。妾でか

機惚れ込んでしまつた。

新しき店で御滿足に

出來ませんが宜敷し

切

な

元宮崎支店

Ξ

Ξ

道十郎は忠太夫に指蔵だけはし

お人に見せぬが、忠太夫がぞつ

切ったものが、 竹町

其事も忘れて現智取職の研究にのたが、総際戦りの一般から、もう

御料理

美

東三馬路五十四號

X

ものか、公所人である様用忠太夫のなつては、低の懈みを厳じ出した

事を忠太夫へ申し出た。

いたと聞いたので、「妹」お八重の して推薦しやうとしたが始は

るが、女人共には一生女房は持た

隣の様などまで聞き出した後。 て、鯸蛛の容色から感胎振舞、近

『妹』も美しいから思くはないが

ろしがつて、恣談するのかも知

ではないか」

鬼間

「青山の女織ひは不思議だ。彼男

『長まりました。世間は廊りござ

忠大夫は此一事を織かに配化力

それにしても内部を辿へんのが

姜 火 ども揃うた者でないと可けますます。ではそれ根當の身が、容色な 谷 小

二黒の人 内憂れ患至る努

めて災禍を避くる用意あれ

■五黄の人 一家の反目交友 乙さ亥さ癸が占 て收支償はざるこご有らん三碧の人 八方に手を擴け に吉なれご同情を失ふな 時運住なれば硬奮

●七赤の人 挫折を來たし再 内さ丁を癸が吉 易き日又病厄盗蛛怪 数注意 見込遠ひを生じ

レストラン

吉野町三丁目(長春座前)

八白の人 外級を受け進退ここで、日本の人 外級を受け進退 プミ丑 き寅が吉 めならざらに至る凶日

門司、神戶(大阪)行

十時大選出帆) 八月二十日 八月廿四日 八月廿二日

八月廿七日

があっても、來女が

維道十郎へ独らして、候補者を除

の思った時

世つた時、初めて見知つた暗山 野十郎からは、金統破りの事代

単人の娘、お朝お八重を候補者



八月廿五日

理

吳

ス

ウト

至八月二十

A

自

八

月

H

五

日

間

電話に五二〇葉や

堂脇サト子

廣告の御用は電話三三〇〇番へ

新京日本橋通七二

一大阪商船出帆

う 照 X ば う 香 X は ら 番 た な か り 港 た か り 港 こ ぴ ら 加 え 丸 丸 丸 丸 丸 丸 丸

キリンビール

卸問屋 ② 福

田

支

店

支店 奉天、新義州

●九紫の人 本業を堅く守れ は自6利徳加はるべき吉日 申ご庚ごが亥吉

日七 十月八 日六廿月六舊

●一白の人 選滯したる事も 容易に解決せらる、良運日 乙三丙三庚が吉 井危 先 乙 木宿 勝 卯 環 Second toxians and an annihability and an annihability.

油衛水煖機 脂生道房械

用材工 料器 品料具

新京日本橋通六〇 洋

電話三二五七番 行

ノーチップタイム 開記 ・ 一葉ランチ(紅茶附) 金五十銭 ・ 1ーチップタイムとし御奉仕致して居ます精々御利用の 程願ひます ・ 1年 1 ーチップタイム

造製合組産水魚白江緑鴨 認公

食料品店で場合 診療受付 内科、小見科 小内 兒 科科

正午より午後三時まで 杏林堂醫院

會御料理 崎よし

、牛は素の康健

英國製高級煙草

健康の要素の

凡でを含有するは

牛乳の他にはあ

りません

牛乳の御用は

皆様の

三宅收

一〇八八香

大見切

洋雜貨 服 正札の半額品で 秋冬物持越品全部を提供しての大奉仕!! 二割引

所 於 掌

場

OFFICIAL BANDINGS

全滿司

法官會議で

まづ鄭國務總理

の訓示

I.

是 洋服店

室町小學校前

圏替の必要も漸次薄らい の店ど

促業員の死活問

票、朝鮮銀行發行の金票の講 物で、並に正金銀行發行の砂 な行、並に正金銀行發行の砂 な行、並に正金銀行發行の砂

つて傾重協調を進めつも

原絲生産者は緑物に絹係紙で参加に反對して居り、就 ず情勢の如何によって はの

英國の出方で

代表者を派遣

【東京十六日韓國頭】英切は ロンドン並にシムラ會商

我人絹業者を参加

英印側の意向にして不當に日使、門野顧問等さ曾見の結果を必ず大

間

沙軍等別大演習御統裁

旗進めらる

洋上に

博軍御軍駿を召され、過後官相、鈴木侍從員、本中侍從武官長以下供奉員を從談を適か願暑の南方太本洋に進めさせられたが此の日 大元帥陛下には純白

此處と近不屬於省份、K丁四十五分網用耶卿出門。同古七6かの年前七時四十五分網用耶卿出門。同古七6かの年前七時四十五分網用耶卿出門。同古七6かの年前七時四十五分網用耶卿出門。同古七6かの一十五十五十五十五

野村司令長官の御先輩にて玉歩を頃明に進めるせる分銅用邸御出門、同八時御召列車にて逗予講師養車

粉

B

日

京

上するもの額/約舗の没落過で休業状態に入り、 管案を停むの名地の銭舗に殆られ、 今度の出週閑散別に入いた、今度の出週閑散別に入いた、今度の出週閑散別に入いた、今度の表別にある。

おば人絹業者は小鼻を乗て大ものに非らざるこさが判明する人絹業を全般的に胚迫する 知れぬ模様で情勢は變化して同に就き代表派遣になるかも

操短擴張は

當分靜觀主義

民政幹部會で松

無任所問題を説明

時機倘見 紡績午餐曾

明し協定及び其手額なごが明田氏が無任所問題の評釋を説都會で十五日午後三時から松都會で十五日午後三時から松

定を主張したが結局當分解觀し一部から強め具體的方針決

のたのが大部分であります。 は部内に於て僧金斐のため

反抗的の氣持を有してをる から、先にく申上けました い共産主義を奉ずら者もあもあり、我が認體さ相容れ 任を黒帽江省にうけたる自 に黒龍江省全官民各位の協の事特

シムラ會議

業俱樂部に開催。席上上推紡績年餐々は十五日正午から綿 につき詳細聴収した後日英印の十河氏より支那紡績の現情 に意見を交換した後十月以降

より見て時期尚早であり大体紙の立場に立ち一途に繰短騰紙の立場に立ち一途に繰短騰低の立場に立ち一途に繰短騰 据置に意見一致を見た模様で

につき金一封を西廣場小學校等 附 中韓隊金澤大尉は

であっさいる状態でありますればならんさ存じしをります りませうし一般勢働者が人つに從事する者、又知識階級、閉 に優茂ばかりでなく、商工業でをります、今後に於ては單 今日在衛朝鮮同胞の思想が棚 ・圏する者、不是鮮人ご言れ、 でもります者、も相當にあり これらに對し加何にこれを慮

百八

の重要性

在滿朝鮮

同胞

殺はれるのでありますかを望むさいふやうな傾向がかを望むさいふやうな傾向が

びた學校騒動が起つたさいよかのほうに傾播致しまして、

岸を中心を致しまして、満

をるのであります嫡洲に於

あります。路倒にありまして

に比較的濃密に住んで

なつてをりますが、それは関なってをりますが、それは関なってをりますが、それは関金の中国かない所もあります。との中最も濃密に住んでをりますが、間島に於てはそのの大部分はは氏であります。この監はののであります。この監はであります。この監はであります。この監はであります。この監はであります。この監はであります。この監はであります。この監はであります。この監はであります。この監はであります。

翌年の二月頃まで、段々こほ

百萬内外の在外朝鮮同胞の大 ものと思つてをります。と

りよう別辞司砲の数も正確にを申しますならば、議別にを

ます朝鮮同胞の数も正

左傾分子の領動がありまして、その裏面には

対して不平を言ふ者がないか 朝鮮内にをります所の、同胞 の間にも併合の真の精神がよ の間にも併合の真の精神がよ

見たのであります。大正八年の騒擾事件は総許もなくして表面的には縄駆せられました。 選動者の一等は網境がに出て不逞國を組織して色々兇暴な

持上けて参りまして、殊にを主義的の運動も、段々さ頃を解放を標榜致します所の社會

久近代の色々な險器な

はウラジオ、

の皇道の精神を理

解後数次の後率があつたご云 降のこさでありますが、建に 原域に於て端緒を得たる第一 回の共産業検事を始めさして

朝鮮の同胞の状態を申上

は美工経験には、一部には朝鮮ないではあります。即も鮮内に以びら政治上の不平からであります。即も鮮内に以下でありませんがであります。即も鮮内に以下であります。即も鮮内に以下であります。即も鮮内に以下であります。即も鮮内に以下であります。即も鮮内に以下であります。即も鮮内に以下であります。即も鮮内に以下であります。即も鮮力には、漁門に対している。 う致しまして開州にをり

を体得せしめ密家建設に に基き訓育を施し國領の大綱日より一ク年間王道坪國精神 同學院に入學せしめ十一月一 り優秀なる人材を選定し、大鍋州嶋政府では嗣人官吏中よ

株本中佐月手當五十國を受け 大断究部員に榮韓の職本職能 在學中は月手當五十國を受け 大断究部員に榮韓の職本職能

既報の頃の闘車軍券謀から陸 離別の挨拶

政策協定に

政友會の要綱

幹部召集して協議

○ の単胚を有するもので、現に 前洲國官史たるものに限られ で、現に 歳以上卅五歳以下で中等學校問は入場の資格は年齢二十五 以上の卒業者並びに同等以上 上 後輩の結果、前田政務調査官 一、一九三六年ロンドン條約 相、山口親一の兩氏は十五日 要綱を協語し總務會の承認を と 「東京十六日菱峨通」鳩山文 して島田、山口兩氏を加へて 世間 「東京十六日菱峨通」鳩山文 して島田、山口兩氏を加へて 世間

一次良校1 あるものか 其長官の推薦によるもので、 これを職重に経動の上入學を かれる場所によるもので、 これを職重に経動の上入學を

意味のステートメントを發表 年司令部に記者圏を引見左の 単司令部に記者圏を引見左の

○○○園を統率する事でなる松木將軍の率るていた第

が親客さ共存共衆に寡念しか親客さ共存共衆にあるい、唯一なる際兵の努力によりて完全に維持されて居り自分 治安一は敬愛す可 一現在 こを比較すり、全く見違へる程だ、内地より、全く見違へる程だ、内地より強洲に入つて最も感じた事は新興備洲辺の熱意は穂てのは新興備洲辺の熱意は穂である

中島警部ら 西豐領事分

造警察官さして中島警部外五 新京署よりは先づ弟一回の派 新京署よりは先づ弟一回の派 館に配屬 資格 **人出頭相成度し** 人出頭相成度し

北湖の第一線を

まづ理想郷に 新任畑〇團長聲明

る 事變後顕洲に來たのは今回 が初めてであるがチチハル には昭和五年一度來た事が ある。當時で 日出競の管である 次議案を

(大連十六日養總通) 日瀬經 機震京尚工會顧所は次の如き 機震京尚工會顧所は次の如き と日禰兩総政府に建議するに し日禰兩総政府に建議するに 會第二日 日滿經濟惡談

の風晴れ一時雲

校正係員募集 一年後一時より同四時までに本

初京日日新聞社

重要案件は 委員會に附託

全滿司法會職第二日

満系中堅官吏の

養成機關實現

大同學院第二部制

いより

1十一月から開く

年度を一月に始まつて十二月 に終る如く 改正 するもので

きで例へば財政職工の貸財品 協用の方法さして官業の創設 を行ふさか、農村振興に米債 を行ふさか、農村振興に米債

合に闘する件は慇談會を開催 方(省及び縣)の司法機關の廢 したる上案を作る事さなつた 執政を訪問

九月

日實施

横山課長の婦來談

為替管理法は

ものである

切く語る人 雜貨新市場

南米に開拓

民間通商使節派遣

たの娘くである 立案浴誦するため特殊の機由前經濟に属する認論を相 観を設置するを必要なりさ

和たが一行は二班に分れ第一 がは九月二十日、第二班は同 がは九月二十日、第二班は同 がよれたが一行は二班に分れ第一 がルー、チリー、プラジル等 の各級で大々的に見本市を開 能、日本商品の眞價を實想し 数可決し之がド行の営連債委数可決し之がド行の営連債基 力に關する決議 滿洲國經濟建設協

タ密接なるを指感し此處に共 臨み兩處經濟不可分の關係会 計 に一層努力せん事を明す

附 中央頒務泰號主末

銀に際じ室町小林校父兄會へ明に際じ室町小林校父兄會へ

人事往來

▲工廳鐵男氏(代議士)十六日 本京講際旅館へ 本京講際旅館へ 本京講際旅館へ ▲上床屻夹氏(帝大教授)同上

京井周氏の香港綿領事任命は富井周氏の香港綿領事任命は

低十八度。十七日の天氣南西十六日の氣温最高三十一度最 天氣と氣溫

專門學校卒業程度、年齡二十五歲以下

****************** 瞬待合室
 をわが物顔

同情はするが當局は迷惑がほ

ammmmm

新京神社

打合せ會

. 9

來る冬はどうする?

日に確へて來る邦人の数も彩しい数に上るが、その多くはたで新京に行きさへすればごたが表記のが多く、其筋でのがによるご失業者でないないので、よるご失業者でないれたものだが最初から職のないもので専門野校等業程度のして知るべしで旅館下宿に青して知るべしで旅館下宿に青

雲の志を懐いて蟄居してる

佳木斯の移民達に

集まつた

同

優しい婦人達の應募が多く

忽ちに慰問品の

日七十月八年八和昭

野しく入り込んで來て先づ洗 を育せてるとも ではいもが全くのルンペンが は現成知已に考 ではで最後の列車の種質があり、こ で属を閉めてしまうから夜によれ ではでもしたらしい姿の邦人が を育せてある。これらル ではでもしたらしい姿の邦人が | 巨文 | 椅子で養寝をするが洗配所を我もの頂に見てるが洗配所を我もの頭に神一つで冷水鹽擦をやみやうな横着な輩もあり、それらは追出すやうにしてゐるが、これから寒くなれば洗面所は湯が出るこ、一数に開放してゐるので、斯くした連中がより多くで、私は洗面所は湯が出ることで、新くした連中がより多く

いたり。それから り、最も問題視されてるた高 好成績を見るに至つたので速 好成績を見るに至つたので速

準備全く成る **吉會線調查團**

に取締め十一月頃公表され 査の結果は調査團の歸京後 經濟案内所の奥村

国長を訪へばたの如く語る

愈よ十七日出發

今回のやうに組織的な全般 ので信じます。それだけ風 ので信じます。それだけ風 ので信じます。それだけ風

太平洋を總っ各級の間に成太平洋を總っ各級の間に成太平洋を總っ各級の間に成

を 作表部はポイコフトなる

りく▲協洲の順子人間さして大連へ樂しい旅にのほつたっか原因で近頃非常にやせてフクロの様に低ばかりパチク

婦人科加

山醫院

ての情味が不足してゐるそう

そっだ今にからだ中も冷たく

力を傾倒する考しす。何し の店會線は新しい意味で重要な職道ですから調査の結 果は各分門さも相當重要資

平洋會議に

見すること

の方途を軽

新渡戸博士の演説

太平洋智頼が一日の會議に於「ハンクーヴァ十五日發戦通」

を論じて まの如く演説した 士は太平洋會議の意義 3 使命

計画するに適しないこの非 過去に於て屢々政治問題を 點に存する。太平洋曾籍は

常に感謝された 常に感謝された 王松旭齋天勝は十六日午後一を持しつもある、魔侗界の女 長春庵に開演では6しい人気十五日夜から11日間の豫定で 衛戌病院慰問

の義務は診断を下すにありを殺見し増黒な事物に光明 は毫も質疑の目的でする 離を受けたが、断くの如き を引める、突如銃弊に あを得ないのである。 日 開方を支持する以上に出 うを得ないのである。 我々の義務は事實 日是非受診する様にさ坂東主けて受診せぬ不心得者は十七 二百名に漏れなく通知してあを行つたが十六日の受診省約 七十名内外で外衆衛生歓念のるに拘らず受診した者は僅か 後からは接答業者の健康診断

く四十名ばかりの匪賊に威嚇が訊けば風を喰つて逃けて行が配けば風を喰つて逃けて行 で茶尖嶺"石嶺峰"鷹家屯、七大いにやれて迫縁砲を放つ始めての外砲に退屈もすつ飛ん 面を笑ひながら兎」角やつて鳴。明日は窓々汽車で吉林に鳴。明日は窓々汽車で吉林に ぬけがひ思

*き輸十對保護京鹽物計構 1 端例大し者酸動の價で酸 ナ時な日でに開務新暴は本 スの支

號 八十百八千三第一

~拓稱省出張所

へに出てるるには少からず験 病の郊外川の手向までやつて 来た、突然日本人四名が出迎

きになつてゐる

だが今は官街で商費をやつてなつてやつて來た人選ださう

のあざいふ。日本人は今一人警

る様子だ、ちいツき眼が吸ひつけられた儘近づいて行くまっけられた儘近づいて行くまいる、小さな子供が三十人許りので見る我々を歓迎する、思は中派が流れた、他に日本人は中派が流れた、他に日本人は神質官安川伊八氏の統率する官街警備軍の捧け鉄、土民の歓迎なのには今夏の様に験かされた。中来宿舍に旅駛を解いて

開催されるが出席者五十餘名に終て全調商業學校長會議が「所報の如く本十七、十八日の「既報の如く本十七、十八日の

編革の指導官全部で五人しか とないこいよ全く無人島で同 他に見えた感がある、船に乗 のす意々官街に入るのだか段 を舟が近づくにつれて小さな をの丸の関端がいくつもいく

官街の町ハ

ム本旅行者が機出し マンスに磐石まで行

街だ。従つて匪賊も殴が相當多い

签を共にした。思へば長い行後、午後五時から縣知事の招

(日

を感激せしめてゐる、

なほ

樺甸縣の資源を探る(五)

プラリミ風呂に出る垢さ汗を 人しぶりに支那料理に舌鼓を 打つたが旋やでこんなものが 食べやうごは夢にも考へてみ なかつた、宿舍に歸るさ出迎 へに來てくれた日本人が挨拶 に來てゐる、色々話を聞いて みる、福島某氏他人の日本人 は全部商賣を營んでゐるさう だがこんな少数の異氏族か心 だがこんな少数の異氏族か心 でであるのは非常に危險ださ

を頭とた際條網が固いため仲してあり、警備が固いため仲に出たいのだか、智守が案ぜに出ると、その上討伐除も外に出ると、を加めてか、留守が案ぜのがご云ム、全く油町ならなのださ云ム、全く油町ならない、最近百餘名の討伐除も外のださ云ム、全く油町ならなのださ云ム、全く油町ならない、最近百餘名の討伐除も外に出るとは、全く計伐をしたが四十名はかりの謀いため虐殺され、後は逃け

て吾々一行に加はる指導官安 の豫定だ。直も平坦馬車の住 の豫定だ。直も平坦馬車の住 を受け今日は黒石鋼に一泊 の豫定だ。直も平坦馬車の住 を受け今日は黒石鋼に一泊 の豫定だ。直も平坦馬車の住 だが疲弊し切ってみいさ一行性氣込 でもやって深いさ一行性氣込 をれ以来外に出て耕作するも を云ムニ行大いに同前受明念 に見える、昨年六月十五 ロ を記述を言って遂に軽退したが を記述を言って必に逃げて了った と云ムニ行大いに同前受明念

よるが優しい婦人達の心

嶮路百里

曜

金さして観道事務所員一同三十間、八千代、一カ麻料亭各二十間、八千代、一カ麻料亭各二十間、在京三新聞社各十圓をの他を合して凡を四百間にも上つた、應募者二百名のう

態は極めて順調に既に本月に一戸が十二日假給水を見るに至の準捗ささもに最近の給水狀。日完成、引續き鷹山堡二壁井脳みの新京水道も第四水源地。人つて下台予第二號井戸が五

The Distribution Distribution

可の使用人を多数平氣で使いながら。やれ警察が八釜歌しいので主客轉倒の頭京ならでは見る事の出來の狀態をからし、一方自己もなかく一荒く、特に一流所の科亭に於ては成特別の人々以外に最親の順風に帆を孕らんだ最近の覇京料理店の繁昌振りは質に

木)

千点以上に達しな ほ特に現果によるさ古衣類總計およそ

水道係ほつと一息

聞

看物をない境遇に

(大連十六日競闘通) 賜暇を

坂谷次長歸滿

世間一の同情はき

日

人會では一般市民の司情に訴
新京時局後會並に衝京聯合婦

泊の上哈爾賓へ向う筈である。

得て内地に歸省中であつた湖 したが。同船では漏洲の經濟 したが。同船では漏洲の經濟 になが。同船では漏洲の經濟

れ

そ主客轉倒

一流の料亭に光る警察の眼

Δ

Δ.

に乗

日

題で今日明日は科学、カフー 時のこの收入に大本タ(CO 場のこの収入に大本タ(CO の総では黒ひ懸けないる

出さなり汽車は人々を乗せて 人さなつた。今は凡てが思ひ 人さなつた。今は凡てが思ひ 人きなつた。今は凡てが思ひ

(甲子城十六日爱城通至急州)全城中等 學校優 勝野 珠大會 第四日目抽製一勝者郡山中學 射秋田中學の試合は十六日午前九時四分郡山中學第一回一點。第二、三。四回無為。系

第一回京 排球選手權大

會

點、第五、六、七、八回無當。

五回三點。第六。七回無當、

第九回一點を舉け結局七對五 のスコケで郡山中県の勝利に が出した閉或十一寺七分 の 0 3 0 0 3 0

現場員採用

大經路廿八號(八島通ご朝日通の角)

新和

公司

久しい間つづけ

に至った、地方事務所水道係に至った、地方事務所水道係 一の大故障がない限り水非難 うらであらうご大磯悅 會 八月二十七日(日)午前九時ョリ

選手資格 四廣場小學校々庭

クリスト 各所屬ニ於テ正選手九名。補欠三名ヲ以テチームヲ組織 八月二十三日迄ニメンバー明記ノ上、主將名ヲ以テ申込

八月二十四日午後二時期方事務所ニ於テ開催、番組抽籤並ら打合セラナス

渡端の劍道使節中山範士一行陸軍、拓扬爾省の應跋を得て全新京で對戦

中山範士

早くお願ひ致しますれ月十五日は新京神社秋季大祭日であり

爾京東一條通二四

三宅

提灯店

(ハト)にて入京した。十七十十七十六日午後七年五十

典 込

九月十五日の新京神社の学大祭が来るので同郷社氏子機代祭が来るので同郷社氏子機代長荒木章氏は氏子役員を隔長長荒木章氏は氏子役員を隔長した。

チー

優申主 會勝 込將

同詳細ハ地方事務所**社會系ニッキ**御問台セノコト

新京日日新聞社。地方事務所社會係宛ノコト

ムニ對シテハ新京日日新聞社盃並ニ副賞ラ授與ス 後 援 新京日々新聞社

るである)日本 聖上陛下 完を提供す 係員は居眠り **勝チブス豫防注射** は日本の聯盟脱退に親し韶・なるのである。は日本の聯盟脱退に親し韶・なり、は日本の聯盟脱退に親し韶・なり、は日本の聯盟脱退に親し韶・なり、は日本の聯盟脱退に親し韶・なり、は日本の聯盟脱退に親し韶・なり、は日本の聯盟脱退に親し韶・なり、は日本の聯盟脱退に親し韶・ない。

さ一緒に行くからロフフフ

なく此度來たら頭から火をつ

日曜、祭日 意

産婆

小野ヒサ子

免許 天野ラサエ

電話三一八〇番

あるさ言ふ閑靜さである。午 いるこ言ふ閑靜さである。午 は はガランさして消 かる は はガランさして消 生営局ではいよく十六日よ 高・ブスの流行期を控えた衛 等のビールの泡ぎ消えるであ が初日受任者の又何んこ少いりこれが豫防任射を開始した 昨日から始まる 松山大勝

四日富義養林對松山商業試合は昨日午後零時三十分嘉義の先攻で開始され席をは六回一先攻で開始され席政は六回一島を入れたるのみ、之に反し松山は終始優勢一回四點、三回三點、四回、五回、六回各一點を舉け十對一のスコアーで松山大勝に歸した 全國中等與校優勝野球大會第

分より横濱先攻で開始。四對 日。一勝者戰橫濱商業對敦賀 日。一勝者戰橫濱商業對敦賀

公スコープ たの如し で横濱勝つ

郡山對秋田經過

教賞000310000

横三郎氏四男章さん五日出 太郎氏四男益雄さん。六日本新京羽衣町四丁日二萬崎富 栃原正勝氏長男尚武さん、

本新京露月町二丁日三八ノニ 一個個四十二

水連西檢番

長吉野町三丁七九 店 裏

赤煉瓦製造販賣

たしますから是非御用命題ひます。周中一台分から御現在五十萬個の煉瓦を持つて居ります。馬車一台分から御

滿洲窯業合資會社

在庫品豐富一 運搬力完備

セメ 瓦 ۲

電話四三七九 六四

心心無力 を安地に

子買へる店

遠近多少二不拘迅速御用命ニ應ジマス

も知つてゐるー

智也

市調製致シます。 尚切用のなない

通標和京新

所親からは全部見通しださ思っても、親には鏡へ映るやうに 利つてゐるさ考へてゐます。 だから友達き話をする時さ違 です。親こ話す時は不十分な 出來るこ思つてゐるのです。こまであつてもしてくれご相のます、父には何事でも必ず せかしあるさい (二) 兩親は何事で

電を止めるこさ、星を取ること、一端樂廻し、紐を解くこと

事はない

一親に出きない

明の危機を同じ位重大であべー教授は、その時期を青

でもゐる

くで自分を見まるつてるてく見えない時でも必ず自分の近

一つ、 して神様は作らないで いって かられば いって みるのに 今日も大 が何者よりも偉いと云ひたいをくさして喜んでゐた、之は ではないかーミ神様

浦じてのみ行ばれます。 父雨に交渉はなく。すべて兩親を は偉いさ思つてゐるここは子供 の父の方が歳をさつてゐる の父の方が歳をさつてゐる じやうに考へてゐるのです。 親は凡てを顔足さしてくれ

し、其時以来父を神様のやう に考へろとがなくなりました ――〇――

からられる色素で、ホタロの然を出て来るためなのであり 色。毛の色

房の色、鳥賊の墨 等すべてメラニン

ロ夏は汗のためにお化粧くづれかはけしいので、誰でも夏の化粧には困難を感ずるのですが味に脂肪性の方は余程上サルなるものです。 簡單な化粧法さしては洗がつき易い代りに早く落ちまがつき易い代りに早く落ちま 刷毛します、その上にクリー顔送水白粉をつけて何温も水 屋カアアコイフアハコヒスト所 カマワナエセ ブ /ラスラ ジャッナエセ ブ /ラスラ ジャップ ビエカラグシメキス調 ニロー八二五七一二二二二四一 ○○四○二三○三二七六一五五○ エ ヨパ レハ

瞼をおすすめしたい、尚之によつて朝顔の新しき利用。方面を研究する方が出來れば非常氣分を取り入れて燕暑いさ云ふ氣持の幾分でも救ふさ云ふ意味からして、妙味あら此實光の一部が缺乏するこさに原因するものです。 面白い實驗さして、 又夜間の室内に朝のを見てやるこさを付け加へて置きます。 それは植物一般にぜひ必要なる温度さ水さ、日 れるこ信じてるます、二階にお父さんがるるから捜しておいでなさい―こ或の父が多勢の中で子供に云ひますご、長い時間からつて二階を捜した子供は、降りてきてからお父

ど子の危機

子供はざんなことから

親に失望するか

朝

のをみて初めて父にだまされたここがあります。皆が笑る メラニンさいふ黒色色素が自皮膚から除り深く瞳内に入る 水揚げ法ない、そのつほみが順々に開いてゆくのもながが、夢の切りを融で揉むが、夢の切りを融で揉むが、夢の切りを融で揉むのが一等効果をあけます 颜

なす、ちょつさなめて見なさには殆ざこれが入つ

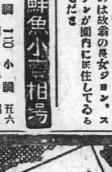
の化粧法 は火傷に用ひても

ものよりも善良であるま考へ子供は兩親を誰よりも偉く何

た成る子供は、 関がなくては 対象をで神様程律いよい人間な

キスの教育場者ピエー

因にも公園に建立場所を選ん ドのは故郷の長女ジョン、ス ロアンが関内に居住してゐる かもだき 相場







能代千八



奇妙な子供の質問を叱つたり なのです、だから此の年齢の ーダウバ・ムカルタ パウダー

ます、仕上に粉白粉を叩き込容水を混ぜて溶いたのをつけ

森
汞
ベルト
ライン

日本橋運り

T

見逃したりするここは子供の危限を更に深めるここになり 獨乙の自動自轉車の構體は、最近著しい饒速を遂け、非常最近著しい饒速を遂け、組みすて木の一個所に一ガロン入りの鑵を附け、優に二百哩以上の快速力あるガソリン量。 (場るさ

但シ南嶺及城内方面ノ

御用の特二格安二御相談ニ應タマス

昌公 事務所

それは簡單に出來ます

せて見やう

これなら大丈夫 なのです、メニランが、 め顔前の美装マスクで稱する大観では均整を目的さするた で整形外科的の効果があり、 寢前之を着用すれば一ク月位輕快な器具が發明された。飲 の的きなつてるる

絕對に防

いくら炎天に出ても

けを

けの原因はつまり、メラニンなのです、メニランが出ないやうにしさへすれば、日焦けはしないわけです、そのためにはキニーチがよろしい、あ 大の成率見量は、油橋の模型を造つて石油事業の真似事をして遊んでゐるさ

日科學の父、エ翁の余榮 ラソン翁を記念するため米园 コユージャー州:メンロ公園 内に高さ四百呎の種光塔が建 てられ夜になるき嚇々、公園 を書さ化してゐる

沼田勇法律事務所 新京百貨店——四七番 田 雄勇

全 赤煉瓦 公主堂 **人院隨時)** 鼻咽 院長醫學博士 喉科專門 造 電話二七〇二番

縦乙自動自轉車の**歌時**用 海の外から

村京南關宋家屯新京東四條通十九番地新京東四條通十九番地

果實部で 和西瓜の特賣

十八日迄但毎日午後七時まで甘栗太郎なればこと出來得る涙ぐましい奉仕振り……

配達は迅速に

電長二八八七番

栗 太

京 郞

100女 ¥ 25 100岁 平,15

唄が出る……

甘栗大郎の

栗をむきり

二人の戀に

こらせよ

閉めてしまつた。

内科に開島路院

御用の節は是非

*電話三二九五番へ

情舊の御引立を願ひます

改名致し

ŧ

12

司公車動自日朝

目丁三町士富京新

そう命じておいて

版で多なみであるだらう! 「大きななであるだらう!」

左京は、太刀を振かぶつて典譜

寸一はい

散步に!!

條

極樂で!!

それを、巧に避けて典膳は、

その職員氏を、うねは如

と。おのれから飛込んで参うひ、さては磯貝同様な目にあ

おそれ入つたかり

紅毛人に吸収まれてしまってる

每

度有

b

ż

ます

水区600过星

第百二十七回 を貫くにはおしい。ようし、かう

とて魅する色もない。左京は、建る 空に向けて、 単語は、 何

はど原を蹴った。 それをとがめるものう て、いきなり引金を引い、何と思つたか、短銭をなったか、短銭を

中央議の身仕度するのを、片壁を をんで特ちらけてあるとき、急に 四達が蹶然となつた。 四方八方から雪崩のやうに殺到。 でおき、水兵でもの、角間を が、その期待は、傾向からはづった。につこり不敵に笑つた。

富士町一

野遊の世出物は豊材 ホ ホ 吟味內容

用くださいませ 新京朝日連の日本橋角 電話三九三六番

お座敷を御利 至極 安直

理

水用品

膝とり

ラ ラ コダツクナーゲルカメラ 1カ用引伸機(ヴァ 1 力 力 力 廣 望 D 遠 型 力 ズ ズ

銀座貨 (吉野町) 電話二三九〇番

設計並工事請負 京支店 製造 フィ

他のろ 信じころ (D) お料理店 新京三笠町三丁目 單語三八三〇番

朝日タクシー

富士タクシーが

夏物大安賣出し、東京領産通 信用を頂きます 御安心してお求めを

釀
開次代
千川
后

五十三話

= 0

茶 お 世帶道具 陶器類色々 電話の層

入院隨意 性內 病 科 痔疾科 小兒科 13話三七五六番 中毒 モヒ



建築の設計を測量は 開電 何でも親切に急いで致し 通話 三共建築事務所 電話 三九三一番 す



根 にルーホ大の後遣改

北滿材紅松、吉林花崗石、 在庫品豐富特に勉強仕候 東亞 出張所《音林三寶碼頭江治街一型與隆公司

砂